

ADATARA

NEWS
Letter

二本松青年海外協力隊訓練所



TOPICS

- 1.古関裕而氏からの「エール」を胸に世界へ
- 2.地域×訓練所=Win-Winな関係

JICA海外協力隊帰国隊員レポート

「福島も元気にする青年海外協力隊」
平成元年 (1989年) 度 2次隊 山崎 裕章さん (臨床検査技師) マラウイ共和国

写真: 2019年度3次隊がJR二本松駅到着の際の「にほんまつ地球市民の会」のみなさんによるお出迎え

JICA海外協力隊 帰国隊員レポート

福島も元気にする青年海外協力隊



やま だき ひろ あき
山崎 裕章さん

平成元年度2次隊
派遣国：マラウイ共和国
職 種：臨床検査技師
出 身：神奈川県

派遣前について

臨床検査技師(以下、技師)として病院の臨床検査室に勤務していました。毎日臨床検査(血液、尿、心電図、脳波など)を行い、また専門の学会などに発表も行っていました。どこにでもいる技師でした。

派遣国と活動について

派遣国は、アフリカ東部のマラウイ共和国でした。配属先は、保健省住血吸虫対策事業ですが、活動部署は農業省サリマ開発支局公衆衛生課でした。この住血吸虫は、川、沼、湖の淡水に生息する寄生虫です。上水道が整備されていない地域では、これらの淡水を利用する際に感染してしまいます。1年目は、管轄内を巡回して村民の検査と投薬を行いました。2年目は、主に感染予防のために、一部の村しかできませんでしたが井戸の設置に従事しました。「臨床検査技師、井戸を掘る」でした。週末は、湖沿いに住んでいたのですが泳げないので近くのホテルのプールや首都でテニスをしていました。また隊員の活動やODA事業の視察など旅行を兼ねマラウイを楽しみました。

帰国後～県内で活動するに至った経緯と活かされている協力隊の経験

帰国後は医療系コンサルタント会社でアフリカ、アジア、中米などで臨床検査、公衆衛生、5歳未満児の栄養状態改善などのプロジェクトや研究などに従事し、大学等の教育機関で国際保健の講義も行いました。また、災害医療チームに登録し、海外でも活動しました。

現在は、2017年2月から浪江町役場二本松事務所に勤務しています。勤務に至った経緯は、たまたまメールで募集案内が届いたのがきっかけでした。部署は避難生活支援係です。町外に避難している町民への支援ですが、避難9年目で災害復興支援よりは、避難先での福祉(しあわせ、ゆたかさ)への支援が必要な状況です。

青年海外協力隊の経験は「もったいない」、「自分の身は自分で守る」、「交渉、準備、協働」が身に付き、日々の生活と業務において無意識のうちに行動しています。



木陰での検査 顕微鏡などの検査機材を積み、車で村々を回り検査を実施



白衣を作業着にして顕微鏡をスパナに変え「臨床検査技師、井戸を掘る」になった日



JICA研修員へ浪江町内の被災状況の説明(右から2番日本人)

① 古関裕而氏からの「エール」を胸に世界へ



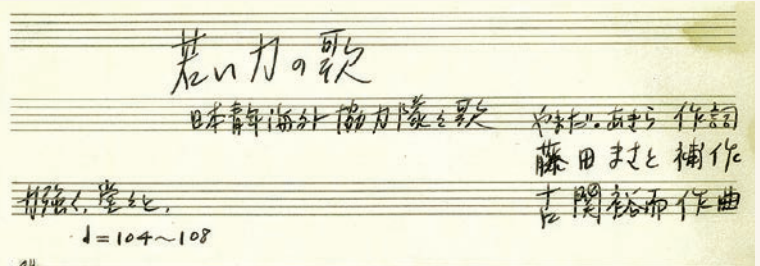
福島市の木幡市長(左)へ楽譜を贈呈した



写真:機関紙「若い力」1968年4月号より



合唱音源
QRコード
(YouTube)



楽譜には「力強く、堂々と」と古関氏からの直筆のエールが書かれている

「オリンピック・マーチ(1964年東京オリンピック選手入場行進曲)」「栄冠は君に輝く(全国高等学校野球大会の歌)」「六甲おろし(阪神タイガースの歌)」「闘魂こめて(巨人軍の歌)」など、人の心にエールを送る古関裕而氏作曲の楽曲。青年海外協力隊の隊歌「若い力の歌」も古関裕而氏の作曲です。1968年に発表され、50年以上もの間、延べ5万人を超える協力隊員により歌い継がれています。楽譜には「力強く、堂々と」と古関氏からの「エール」も書き込まれています。

古関氏と青年海外協力隊、福島県の繋がりを多くの方感じていただければとの思いで、直筆楽譜を2020年1月9日に古関氏の故里、福島市にある古関裕而記念館へ寄贈しました。

現在も隊歌「若い力の歌」はJICA海外協力隊の訓練最終日に斉唱され、古関氏からの「エール」を胸に世界へ飛ばします。

② 地域×訓練所=Win-Winな関係

訓練所で実施している「地域実践活動」。派遣後、即戦力として活動できるように、訓練所から外に出て、活動先の方にインタビューして課題を見つけ、改善策を提案する実践的な訓練です。

活動に取り組む訓練生からは「この活動で自分たちが支援するつもりが、逆に地域の方に勇気づけられたり、元気をもらう」といった意見を耳にします。これは実際に派遣された国でも感じることで同じです。それに気づけたことも1つの成果ではないでしょうか?

また地域の方々からは「慢性的な人手不足の部分を補ってもらって感謝している」と現状の課題解決に直接的に貢献しているといった意見をいただいています。また「受入先同士の横の繋がりが増えることで、各々の課題解決にとどまらず様々な面での底上げが期待できる」といった課題解決だけでなく、今後の取り組みに関して期待の声が上がっています。

「地域×訓練所」を代表する「地域実践活動」は、岳温泉エリアをはじめとする地域活性化への期待と、訓練生の現地での活動手法を学ぶ機会、さらには派遣される国の発展・復興などにWin-Winな関係を築いています。これも地域実践活動を受け入れていただく地域の力があってこそこの訓練です。今後も、JICA二本松は地域活性化の一助となるよう地域と連携した訓練を行っていきます。



岳温泉観光協会での地域実践活動



安達ヶ原ふるさと村いぶしの会での地域実践活動



JICA海外協力隊

※①派遣国 ②職種 ③出身地

2019年度3次隊



青年海外協力隊
まえだ ひろき
前田 尋貴さん
①ルワンダ
②コミュニティ開発
③喜多方市



シニア海外協力隊
やぶき としお
矢吹 敏雄さん
①アルゼンチン
②河川・砂防
③福島市



青年海外協力隊
よしだ ひでゆき
良田 英行さん
①マーシャル
②建設機械
③郡山市



現在も福島県出身者36名が 世界22カ国で活躍中



2020年1月31日現在 合計派遣中：36名 計：803名

青年海外協力隊				シニア海外協力隊			
派遣中	33	累計	731	派遣中	2	累計	55
日系社会青年海外協力隊				日系社会シニア海外協力隊			
派遣中	1	累計	11	派遣中	0	累計	6



JICA二本松訓練所のホームページでは、JICA海外協力隊についてなんでも相談できます! JICA海外協力隊に関すること、イベント、JICA二本松施設訪問、講師派遣依頼など、些細なことから難しいことまで担当スタッフが丁寧に对应致します!

ぜひご相談ください!

JICA二本松 なんでも相談窓口



地域のJICA窓口! JICAデスクの ご紹介

■JICA福島デスク 星 明彦
TEL : 024-524-1315
E-mail: jicadpd-desk-fukushimaken@jica.go.jp
福島県福島市舟場町2-1 福島県庁舟場町分館2階
(公財)福島県国際交流協会内

■JICA郡山デスク 室井 研一
TEL : 080-3148-2105
E-mail: MUROI-Kenichi2@jica.go.jp
福島県郡山市朝日一丁目23-7 郡山市役所西庁舎4階
郡山市役所産業政策課内

JICA二本松のTwitter開設しました!!

なぞに包まれている訓練所の秘密や、福島県の魅力についてもどんどんつぶやいています!

@jica_ntc



Follow me

発行元

独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局
二本松青年海外協力隊訓練所
〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂4-2
Tel:0243-24-3200 Fax:0243-24-3214